

第 2 学 年 図 画 工 作 科 学 習 指 導 案

2 年 2 組 指 導 者 岡 崎 典 子

題 材 はって かさねて

資質・能力
①活用できる知識・技能
②自ら問題を見付ける力・解決する力
③根拠をもとに筋道を立てて考える力
④自分や仲間の考えを問い直す力
⑤様々な角度から自分の考えを創り出す力
⑥自分の思いや考えを分かりやすく伝える力
⑦自分から学びに向かおうとする力
⑧仲間の考えを受けとめる力
⑨困ったときに援助を求める力
⑩自分の学びを見つめ直す力
⑪人間性(感性、自己肯定感など)

1 題材について

本学級の子どもたちは、題材「どんどんつないで」において、細長い紙のつなぎ方を工夫していき経験をしている。その際、仲間とかかわり合いながら、細長い紙をつないでできる形や色などを基に自分のイメージを広げていく姿が見られた。このような子どもたちが、透過性のある材料と出会い、重ねて見える形や色の変化を楽しみ、そこから発想をふくらませていく。このことは、感性を働かせながら、創造的に表現したり鑑賞したりしていくことにつながるであろう。

本題材は、透明な折り紙を窓ガラスに貼り重ね、変化する形や色のよさや面白さを感じ取りながら、貼り重ね方を工夫していく学習である。子どもたちは、透明な折り紙の貼り重ね方を工夫していく中で、貼り重ねて生まれる形や色などを基に自分なりのイメージをもつ。その際、仲間と材料を操作しながら、形や色などを基に思い付いたことを話し合ったり、イメージを共有したりすることを大切にしたい。なぜなら、形や色などを基に自分や仲間の考えを捉えることができ、直観的だった発想や構想が自覚化されて自分のイメージが豊かになり、創造的に思考・判断していくことができるからである。

そこで、以下の支援を具体化する。

- 3つの形に切った透明な折り紙を、数枚貼り重ねていく演示をし、「どのように形や色が変わるか」を問う。そうすることで、貼り重ねて生まれる形や色に着目して、試そうとすることができるようにする。
- 透明な折り紙の貼り重ね方について交流する際、形や色などとイメージとをつないで、子どもの発言を板書する。そうすることで、イメージを仲間と共有し、形や色などとイメージとを関連付けて思考することができるようにする。
- 「いいな」と思った自分と仲間の形や色を記録した「形・色いいなカード」をもとに、貼り重ね方について再現しながら交流するよう促す。そうすることで、造形的な活動の過程を見つめ直すことができるようにする。

2 目 標

- 変化する形や色のよさや面白さを感じ取りながら、透明な折り紙の貼り重ね方を工夫することができるようにする。
- 透明な折り紙の貼り重ね方について仲間と交流する中で、形や色、材料などにかかわりながら造形的な活動をする楽しさや喜びを味わうことができるようにする。

3 評価規準

主体的に学習に取り組む態度(態)	思考・判断・表現(思)	知識・技能(知・技)
○透明な折り紙を貼り重ねたり、貼り重ねた形や色を見たりすることを楽しみながら、造形的な活動に取り組もうとしている。	○透明な折り紙の貼り重ね方を試しながら、形や色の変化に気付いている。 ○透明な折り紙の貼り重ね方を試しながら、造形的な活動を思い付いている。	○変化する形や色のよさや面白さを感じ取りながら、透明な折り紙の貼り重ね方を工夫している。

4 指導計画 (全3時間)

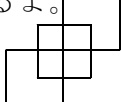
1次 透明な折り紙を貼り重ねる (1時間)【本時1 / 1】

2次 お気に入りの形や色を紹介する (2時間)

5 本時案 【平成28年12月2日 14:30~15:15 幼稚園遊戯室】

- (1) ねらい 透明な折り紙を貼り重ねて生まれる形や色を基に思い付いたことを交流しながら、貼り重ね方を工夫することができる。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 貼り重ねて生まれる形や色について交流し合う (5分)</p> <p>学習内容 ・貼り重ねて生まれる形や色への関心(態)</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生が透明折り紙の赤色を貼って、青色を斜め上に重ねたよ。 重なったところは、紫色になるね。絵の具と同じだ。 重なったところに、小さな□ができるね。 どんどん斜め上に貼っていくと、階段みたいにつながるよ。 透明な折り紙の形は、○と△もあるのだね。 貼り重ねると、どんな形や色が生まれるかな。 	<p>○透明な折り紙を窓に貼り重ねる演示をし、「どのように形や色が変わるか」を問うことで、貼り重ねて生まれる形や色に着目して、貼り重ね方を試そうとすることができるようになる。</p>
<p>② 透明な折り紙を貼り重ねる (27分)</p> <p>学習内容 ・変化する形や色への気付き(思) ・貼り重ね方の工夫(知・技) ・形や色などを基に造形的な活動を思い付くこと(思)</p> <p>A □の向きを変えて重ねると、小さなダイヤの形ができたよ。</p> <p>B いろいろな色の△を少しずつ回転させて貼ると、きれいだよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> わあ、色がだんだん変わっていく虹色の風車みたい。 <p>C Dくん、□の中に○がぴったり重なるよ。</p> <p>D 本当だ。ここを見て。先がとがっている形ができているよ。</p> <p>C この形を4つ合わせたら、どうかな。</p> <p>D いいね。僕たちが見つけた形を先生がテレビに映してくれたよ。</p> <p>CくんとDくんは、どのような形や色を見つけたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重ねた外側に新しい形ができているよ。 <p>C Dくんと、このとがった形を見つけて4つ合わせてみたよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> あ、折り紙でつくった「しゅりけん」みたいだ。中の色を2色交互にしていってきれいだよ。 いろいろな見え方があるよ、楽しいな。 <p>A ○と◇を交互に重ねると、ここの形が扇子みたいになるよ。</p> <p>E 本当だ。◇の上や下にも○を重ねても扇子ができるよ。</p>	<p>○新たな形や色を見つけている子どもを見取り、全体に紹介することで、仲間の見方にふれ、見方を変えて貼り重ね方を工夫しようとする事ができるようになる。</p> <p>○貼り重ね方について交流する際、形や色などとイメージとをつないで子どもの発言を板書することで、形や色などとイメージとを関連付けて思考し、発想をふくらませていくことができるようになる。</p>
<p>③ 学習の振り返りをする (13分)</p> <p>学習内容 ・変化する形や色のよさや面白さ(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いいな」と思った形や色をカードに記録するのだね。 <p>B 風車の真ん中に○を重ねると、虹色のコマみたいになったよ。</p> <p>A Eさんのおかげで、扇子が上や下にもできることに気付いたよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> あ、扇子の向きが変わっている。きれいな模様ができていますね。 貼り重ねると、形や色の見え方が変わって、楽しいね。 みんなは、どのような形や色を見つけたのかな。次の時間に見てまわりたいな。 	<p>○「形・色いいなカード」をもとに、貼り重ね方について再現しながら交流するよう促すことで、造形的な活動の過程を見つめ直すことができるようになる。</p>

6 板書計画